

2025 年度（2024 年度採択者分）研究活性化経費の評価結果について

本経費は、学内予算を競争的に配分し、特色ある教育・研究の活性化等を図ることを目的に 2000 年度から導入されたものです。採択された課題については、その実施期間終了の翌年度に評価を実施することとしています。

2024 年度に終了した研究課題（13 件）について、成果報告会を開催するとともに、執行部等を評価委員とする評価を実施しましたので、その結果を公表します。

研究活性化経費の概要

1. 趣旨

若手研究においては、本学における学術研究の発展に資する、今後活躍が期待される若手教員に、必要な研究経費を配分するもの。

ジェンダード・イノベーション研究においては、性差に関する研究に対して必要な研究経費を配分するもの。

2. プロジェクト類型

若手研究	553 ～ 700 千円
ジェンダード・イノベーション研究	625 ～ 700 千円

評価について

1. 評価方法について

採択者は、成果報告書を作成するとともに、成果報告会にて評価委員に対し成果を発表する。評価委員は、成果発表及び書面に基づき、評価を実施する。

2. 評価委員

学長、理事、学長の指名する副学長等

3. 評価の観点

1. 当初計画の達成度
2. 教育研究成果

4. 評価の採点方法

評価の観点について総合的に判断し、各評価委員 5 点満点で採点の上、平均点を算出し、以下のとおり 5 段階にて評価結果を表す。

<採点の目安>

- 5 : 当初計画以上に達成できている。
- 4 : 当初計画が達成できている。
- 3 : 当初計画がほぼ達成できている。
- 2 : 当初計画が十分に達成できていない。
- 1 : 当初計画が全く達成できていない。

<評価結果>

- | | |
|------|-------------------|
| A = | 4.0 点以上 |
| AB = | 3.0 点以上 4.0 点未満 |
| B = | 2.5 点以上 3.0 点未満 |
| C = | 1.0 点を超えて 2.5 点未満 |
| D = | 1.0 点 |

<2025年度（2024年度採択者分）研究活性化経費評価結果>

区分	所 属	氏 名	課 題 名	評価
若手	機械工学系	石井 裕樹	溶質原子／転位の相互作用最適化制御による金属材料の高強度・高延性化	A
若手	機械工学系	倉石 孝	タイヤの空力音に関する基礎研究評価	AB
若手	機械工学系	武田 洋晶	「安全」かつ「安心」な福祉ロボットに関する研究	A
若手	機械工学系	田尻 大樹	振戦抑制のための動吸振器の開発	AB
若手	機械工学系	堀尾 亮介	スケジューリング問題を考慮したモデル予測制御によるマルチロボットシステムの最適化	AB
若手	電気・電子情報工学系	HASAN MAODUDUL	偏波と指向性を同時に制御できる Beyond5G/6G 向け低コスト多機能アンテナの研究	A
若手	電気・電子情報工学系	引間 和浩	液相法を駆使した全固体電池用電極複合体シートの創製	A
若手	電気・電子情報工学系	Piedra Lorenzana Jose Alberto	AlN film by reactive sputtering as a stressor for photonic devices.	AB
若手	情報・知能工学系	顧 淳祉	発話スタイルを考慮した音声駆動型顔アニメーション生成に関する研究	A
若手	応用化学・生命工学系	中神 光喜	双性イオンポリマーの液体クロマトグラフィー用分離固定相への導入	A
若手	建築・都市システム学系	Park Minjeong	高齢者の自主組織としての老人クラブのあり方と老人福祉施設の活用に関する研究	AB
シェンター	次世代半導体・センサ科学研究所	河野 剛士	マウスを用いた長期的なニューロン記録による脳機能の性差解析	A
シェンター	先端農業・バイオリサーチセンター	中鉢 淳	微生物叢解析に基づく難治性慢性副鼻腔炎の病態解明	A